

# 第207回経営経済動向調査

～2024年1～3月期実績と4～6月期及び7～9月期予想～

## < 目次 >

調査概要等について	1 頁
I 国内景気動向の概要	2 頁
II 自社業況（総合判断）の概要	3 頁
III 企業経営動向 概要	4 頁
IV 当面の経営上の問題点	7 頁
V 企業の現況	8 頁
VI 企業からのコメント	9 頁
<付帯調査>	
VII 設備投資計画について	10 頁
VIII 事業継続計画（BCP）について	13 頁
巻末資料	15 頁

2024年3月 京都商工会議所

## 調査概要等について

### <調査概要>

■ 調査目的：京都府内における短期的な景気動向を把握するため

■ 調査時期：2024年2月15日～3月4日

■ 調査対象時期：実績（見込） 2024年1～3月期  
 予想 2024年4～6月期  
 2024年7～9月期

※ それぞれ直前四半期との比較による。

ただし、自社業況の各項目の内、製・商品在庫は適正水準比

■ 調査内容：① 国内景気、自社業況の各実績と今後の予想  
 ② 当面の経営上の問題点  
 ③ 付帯調査

■ 調査対象：京都府内に本社、本店等を有する企業506社  
 [製造業・建設業・不動産業・運輸・倉庫業は資本金3億円超、  
 卸売業は1億円超、小売業・サービス業は5千万円超を大企業とした。]

■ 回答企業数：343社（回答率67.8%）

■ 調査方法：郵送によるアンケート方式

※ BSIとは、Business Survey Indexの略で、BSI値は景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合を示す。

プラスならば「強気」・「楽観」を、マイナスならば「弱気」・「悲観」を意味する。（ただし、製・商品在庫は適正水準比）

$$BSI = \{ (上昇(増加、他)と回答した企業の割合) - (下降(減少、他)と回答した企業の割合) \} / 2$$

### <回答状況>

	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	回答企業の構成比(%)
総計	506	343	67.8	100.0
製造業	270	178	65.9	50.9
食料品	28	21	75.0	6.0
繊維	14	12	85.7	3.8
染色	10	5	50.0	1.5
繊維製品	12	7	58.3	1.1
化学・ゴム	25	18	72.0	6.0
窯業・土石	12	7	58.3	2.3
鉄鋼	8	5	62.5	1.5
非鉄	22	13	59.1	4.2
一般機械	24	20	83.3	6.4
電気機械	36	21	58.3	6.0
精密機械	19	13	68.4	2.6
木材・木製品	14	8	57.1	2.3
出版・印刷	26	17	65.4	4.9
その他製造業	20	11	55.0	2.3
商業	83	57	68.7	16.2
卸売業	62	42	67.7	12.5
食料品卸	19	11	57.9	3.4
繊維卸	18	15	83.3	4.2
機械金属卸	25	16	64.0	4.9
小売業	21	15	71.4	3.8
建設業	32	27	84.4	8.3
不動産業	13	10	76.9	3.0
運輸・倉庫業	25	17	68.0	6.0
サービス業	83	54	65.1	15.5
料理・飲食	18	11	61.1	2.6
旅館・ホテル	20	13	65.0	3.8
情報・事業	24	15	62.5	3.8
その他サービス業	21	15	71.4	5.3

# I 国内景気動向の概要

## 国内景気BSI値は4期連続で上昇 ～ 景気感は今後もプラスで推移する見込み ～

### ■ 国内景気動向《実績（2024年1～3月期）》

- ・今期の国内景気BSI値は3.4（前期実績10.9）と幾分上昇し、4期連続での上昇となった。
- ・インバウンドによる消費の継続に加え、個人消費の更なる回復が期待され、大企業を中心に上昇し、1～3月期としては6年ぶりの上昇となった。

### ■ 国内景気動向《今後の予想》

- ・今後の予想については、4～6月期は11.9と、運輸・倉庫業をはじめとした全ての業種で上昇し、続く7～9月期も7.2と、ほとんどの業種で上昇が続く見込み。

### 国内景気動向

2024年1～3月期 (実績)	2024年4～6月期 (見込)	2024年7～9月期 (見込)
3.4	11.9	7.2

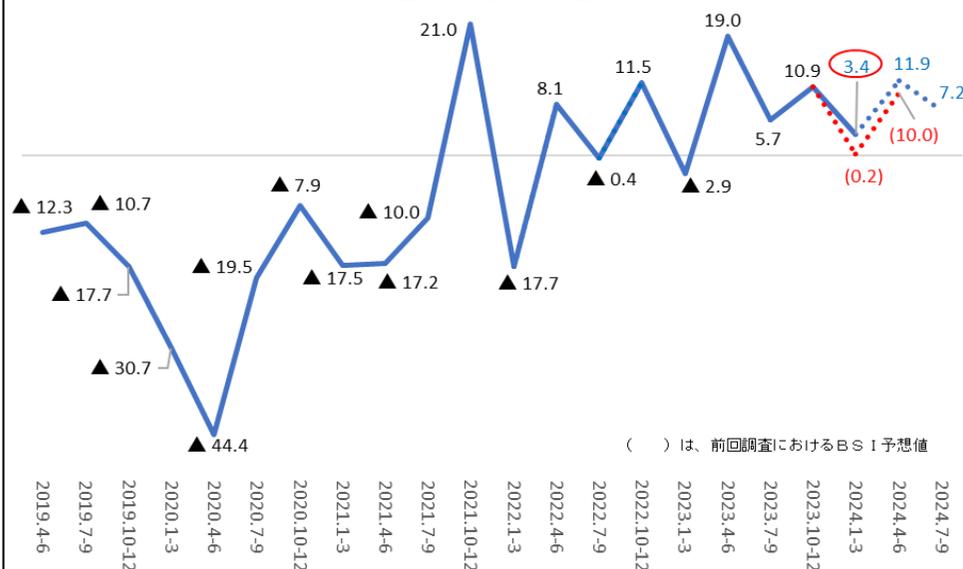
### 《業種別 2024年1～3月期BSI値》

- ・2024年1～3月期のBSI値は、不動産業（15.0）、小売業（14.3）、建設業（11.1）などで上昇した。今後の予測では4～6月期に全ての業種で上昇し、7～9月期にも小売業を除く全ての業種で上昇する見通し。

### 《規模別 2024年1～3月期BSI値》

- ・大企業（14.4）で大幅に上昇した一方、中小企業（▲1.5）では下降に転じた。今後の予測では、7～9月期にかけて大企業、中小企業ともに上昇傾向で推移する見通し。

【国内景気動向BSI推移】



国内景気	実績						予測						
	2023年10～12月期			2024年1～3月期			2024年4～6月期			2024年7～9月期			
	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	
総計	10.9	35.2	13.4	3.4	27.4	20.6	11.9	34.1	10.3	7.2	24.4	10.0	
業種別	製造業	7.1	30.2	16.0	▲0.5	23.6	24.7	8.8	30.9	13.4	6.8	27.0	13.4
	卸売業	13.1	42.9	16.7	1.2	28.6	26.2	12.0	31.0	7.1	8.3	19.0	2.4
	小売業	16.7	33.3	0.0	14.3	42.8	14.3	10.7	35.7	14.3	▲3.6	7.1	14.3
	建設業	3.9	15.4	7.7	11.1	33.3	11.1	11.1	29.6	7.4	7.4	18.5	3.7
	不動産業	22.2	44.4	0.0	15.0	30.0	0.0	15.0	30.0	0.0	15.0	30.0	0.0
	運輸・倉庫業	22.5	55.0	10.0	0.0	23.5	23.5	32.4	64.7	0.0	20.6	41.2	0.0
	サービス業	18.6	48.8	11.6	10.6	32.7	11.5	16.1	39.6	7.5	4.9	21.2	11.5
規模別	大企業	19.2	45.8	7.4	14.4	37.5	8.7	16.4	39.5	6.7	11.1	27.9	5.8
	中小企業	7.6	30.9	15.8	▲1.5	22.9	25.8	10.0	31.7	11.8	5.6	22.9	11.8

## Ⅱ 自社業況（総合判断）の概要

### 自社業況BSI値は▲6.5と下降に転じる ～ 人手不足やコスト増により減収減益傾向 ～

#### ■ 自社業況（総合判断）《実績（2024年1～3月期）》

・ 今期の**自社業況BSI値は▲6.5**（前期実績9.1）と下降に転じた。

・ 急速な需要回復による人手不足や、原材(燃)料価格の高止まり・人件費の高騰などによるマイナスの影響もあり、中小企業を中心に多くの業種で減収減益傾向となった。

#### ■ 自社業況《今後の予想》

・ 今後の予想については、業種によって回復スピードに差はあるものの全体としては4～6月期は6.2と上昇に転じ、7～9月期も1.2と、上昇が続く見通し。

#### 自社業況（総合判断）

2024年1～3月期（実績）  
▲6.5

2024年4～6月期（見込）  
6.2

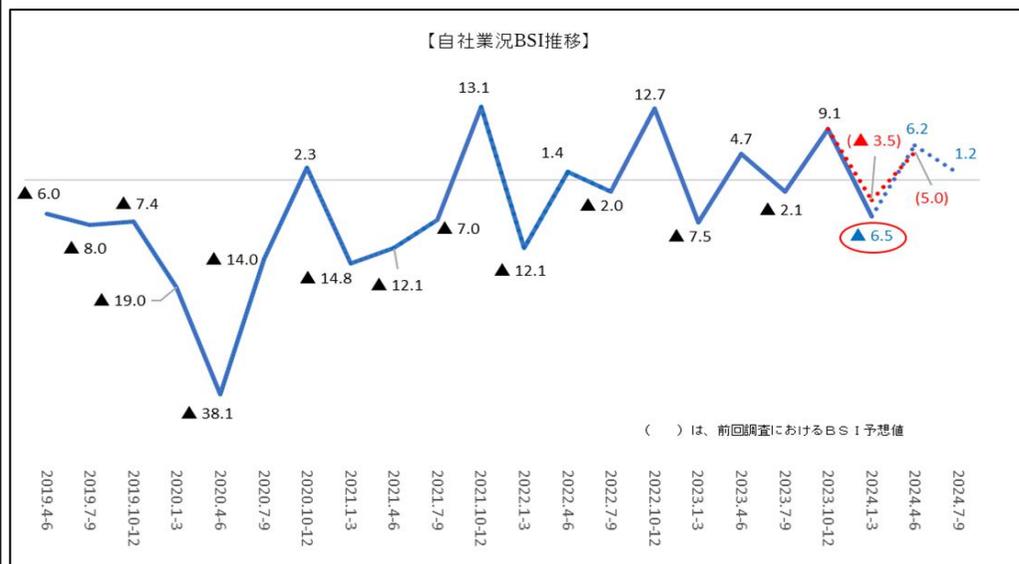
2024年7～9月期（見込）  
1.2

#### 《業種別 2024年1～3月期BSI値》

・ 2024年1～3月期のBSI値は、小売業（13.4）、建設業（13.0）で上昇した一方、運輸・倉庫業（▲32.4）、卸売業（▲10.7）などでは下降し、まだら模様となった。今後の予測では、7～9月期にかけて、製造業及びサービス業は上昇基調で推移し、それ以外の業種では一進一退で推移する見通し。

#### 《規模別 2024年1～3月期BSI値》

・ 大企業（3.4）では上昇が続き、中小企業（▲10.8）では下降に転じた。今後の予測では、大企業は7～9月期にかけて上昇を続ける一方、中小企業は4～6月期に上昇するものの、7～9月期には再び下降に転じるなど、やや弱含みで推移する見通し。



自社業況 (総合判断)	実 績						予 測						
	2023年10～12月期			2024年1～3月期			2024年4～6月期			2024年7～9月期			
	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	B.S.I	上 昇	下 降	
総 計	9.1	39.2	21.1	▲ 6.5	23.7	36.6	6.2	30.0	17.6	1.2	19.2	16.8	
業 種 別	製造業	7.3	37.6	23.0	▲ 8.7	19.7	37.1	3.1	25.4	19.2	2.3	19.2	14.7
	卸売業	▲ 2.4	31.0	35.7	▲ 10.7	26.2	47.6	0.0	21.4	21.4	2.4	19.0	14.3
	小売業	45.9	91.7	0.0	13.4	46.7	20.0	16.7	33.4	0.0	▲ 10.1	13.3	33.4
	建設業	1.9	23.0	19.2	13.0	40.7	14.8	▲ 1.9	18.5	22.2	1.9	22.2	18.5
	不動産業	5.6	22.2	11.1	0.0	20.0	20.0	▲ 10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	10.0
	運輸・倉庫業	17.5	45.0	10.0	▲ 32.4	0.0	64.7	29.4	64.7	5.9	▲ 2.9	11.8	17.6
	サービス業	17.5	48.9	14.0	▲ 3.8	28.3	35.9	18.0	49.1	13.2	1.0	23.1	21.1
規 模 別	大企業	11.2	42.6	20.2	3.4	36.2	29.5	10.7	38.8	17.4	7.3	25.2	10.7
	中小企業	8.1	37.7	21.5	▲ 10.8	18.2	39.7	4.3	26.1	17.6	▲ 1.5	16.5	19.4

### Ⅲ 企業経営動向 概要

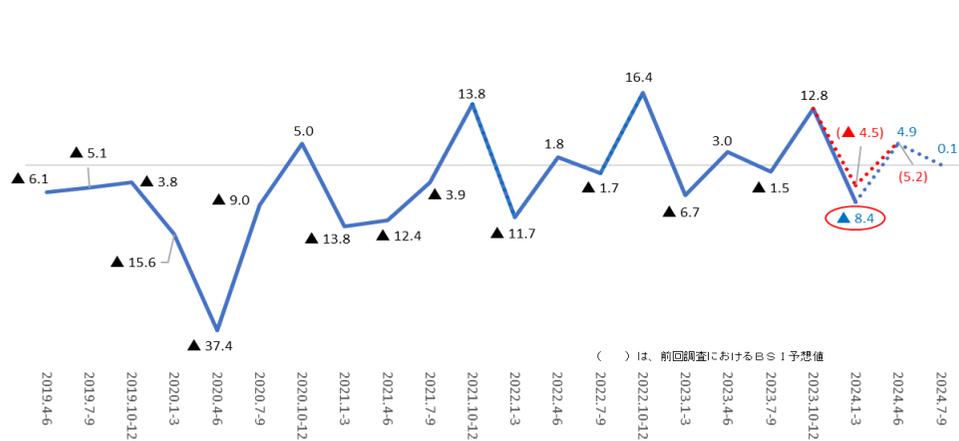
#### 1 生産・売上高、工事施工高

2024年1~3月期(実績) ▲8.4	2024年4~6月期(見込) 4.9	2024年7~9月期(見込) 0.1
------------------------	-----------------------	-----------------------

##### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は▲8.4と減少に転じ、運輸・倉庫業(▲34.4)、サービス業(▲10.6)、卸売業(▲9.8)などで減少した。
- ・大企業(▲2.9)、中小企業(▲10.9)とも減少に転じた。
- ・先行きは、4~6月期は4.9と上昇に転じ、7~9月期には0.1と、ほぼ横ばいで推移する見通し。

【生産・売上高、工事施工高BSI推移】



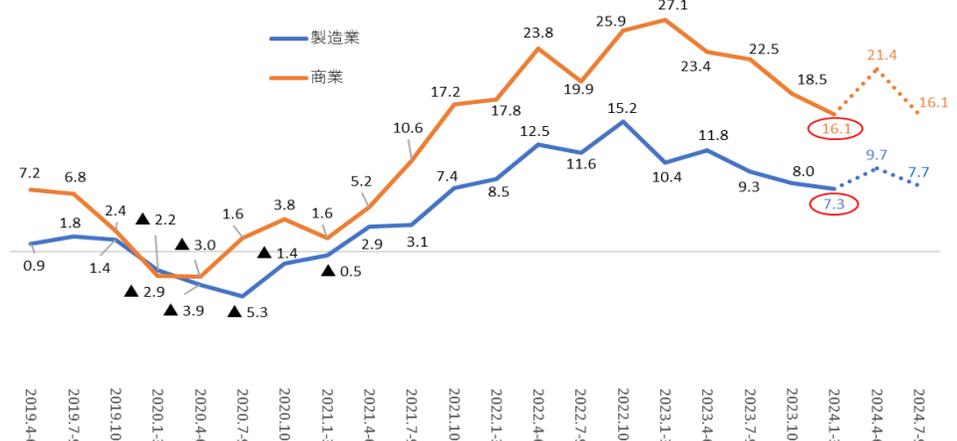
#### 2 製・商品・サービス・請負価格

2024年1~3月期(実績) 8.9	2024年4~6月期(見込) 13.2	2024年7~9月期(見込) 8.5
-----------------------	------------------------	-----------------------

##### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は、製造業は7.3、商業は16.1と、ともに上昇基調が続いているが、上昇幅は縮小している。
- ・業種別に見ると、製造業、商業に加え建設業(14.8)でも上昇が続いている。
- ・先行きは、製造業・商業ともに4~6月期にかけて上昇幅が拡大に転じる見通し。

【製・商品・サービス・請負価格BSI推移】



生産・売上高 工事施工高	実 績						予 測						
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期			
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	
総 計	12.8	41.7	16.2	▲8.4	22.4	39.2	4.9	29.9	20.1	0.1	18.4	18.1	
業 種 別	製造業	10.9	37.1	15.3	▲9.0	20.2	38.2	4.8	28.2	18.6	1.7	19.8	16.4
	卸売業	1.2	33.3	31.0	▲9.8	24.4	43.9	▲2.5	19.5	24.4	4.9	19.5	9.8
	小売業	41.7	83.3	0.0	0.0	26.7	26.7	3.4	20.0	13.3	▲13.3	6.7	33.3
	建設業	5.8	30.8	19.2	7.4	37.0	22.2	▲14.8	11.1	40.7	0.0	18.5	18.5
	不動産業	11.1	33.3	11.1	5.0	30.0	20.0	▲5.0	20.0	30.0	▲5.0	10.0	20.0
規 模	運輸・倉庫業	21.1	52.6	10.5	▲34.4	6.3	75.0	28.2	68.8	12.5	0.0	18.8	18.8
	サービス業	24.5	60.5	11.6	▲10.6	23.1	44.2	16.4	46.2	13.5	▲4.0	17.6	25.5
大企業	16.5	51.1	18.1	▲2.9	31.7	37.5	7.4	37.3	22.5	4.9	25.5	15.7	
中小企業	11.3	37.9	15.4	▲10.9	18.3	40.0	3.8	26.7	19.1	▲1.9	15.3	19.1	

製・商品・ サービス・ 請負価格	実 績						予 測						
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期			
	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	B.S.I	上昇	下降	
総 計	11.9	27.9	4.1	8.9	23.0	5.3	13.2	28.2	1.8	8.5	19.3	2.4	
業 種 別	製造業	8.0	21.2	5.3	7.3	18.5	3.9	9.7	21.0	1.7	7.7	16.5	1.1
	卸売業	17.9	42.9	7.1	13.4	31.7	4.9	18.3	39.0	2.4	14.7	31.7	2.4
	小売業	20.9	41.7	0.0	23.4	46.7	0.0	30.0	60.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	建設業	15.4	34.6	3.8	14.8	40.7	11.1	18.5	40.7	3.7	14.8	37.0	7.4
	不動産業	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
規 模	運輸・倉庫業	10.6	21.1	0.0	3.0	11.8	5.9	17.7	35.3	0.0	8.8	17.6	0.0
	サービス業	19.1	38.1	0.0	6.8	23.1	9.6	14.5	30.8	1.9	1.0	7.8	5.9
大企業	12.8	28.7	3.2	8.2	20.2	3.8	12.3	27.5	2.9	7.9	16.7	1.0	
中小企業	11.6	27.6	4.4	9.2	24.3	6.0	13.6	28.5	1.3	8.8	20.5	3.0	

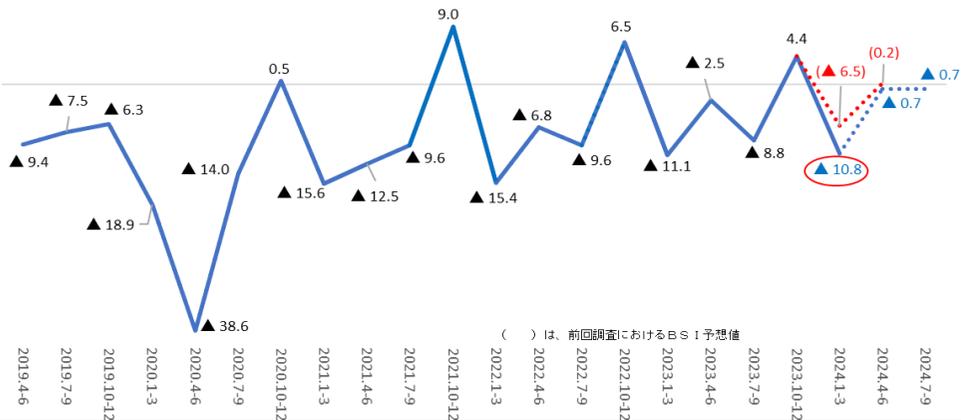
### 3 経常利益

2024年1~3月期(実績) ▲10.8	2024年4~6月期(見込) ▲0.7	2024年7~9月期(見込) ▲0.7
-------------------------	------------------------	------------------------

#### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は▲10.8と、大幅な減少に転じ、特に運輸・倉庫業(▲35.3)で大きく減少した。
- ・大企業(▲1.5)でやや減少し、中小企業(▲14.9)では大幅な減少となった。
- ・先行きは、大企業では若干の増加に転じる一方、中小企業では減少幅が縮小するもののマイナスとなり、やや慎重な姿勢が続く見通し。

【経常利益BSI推移】



経常利益	実績						予測					
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期		
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少
総計	4.4	31.8	23.1	▲10.8	20.1	41.6	▲0.7	22.3	23.7	▲0.7	17.6	19.0
業種別												
製造業	2.7	28.8	23.5	▲12.9	18.0	43.8	▲1.7	20.9	24.3	1.1	18.6	16.4
卸売業	▲6.0	23.8	35.7	▲13.1	19.0	45.2	▲12.0	7.1	31.0	▲1.2	16.7	19.0
小売業	25.0	50.0	0.0	0.0	26.7	26.7	6.7	20.0	6.7	▲13.4	0.0	26.7
建設業	▲8.0	12.0	28.0	0.0	26.9	26.9	▲13.5	3.8	30.8	▲7.7	7.7	23.1
不動産業	11.1	33.3	11.1	10.0	30.0	10.0	▲10.0	10.0	30.0	0.0	20.0	20.0
運輸・倉庫業	12.5	45.0	20.0	▲35.3	0.0	70.6	17.7	47.1	11.8	3.0	23.5	17.6
サービス業	17.5	51.2	16.3	▲5.9	27.5	39.2	12.0	44.0	20.0	▲1.1	22.4	24.5
規模別												
大企業	5.4	36.2	25.5	▲1.5	33.0	35.9	1.0	29.7	27.7	2.5	23.8	18.8
中小企業	4.0	30.0	22.0	▲14.9	14.4	44.1	▲1.5	19.1	22.0	▲2.1	14.9	19.1

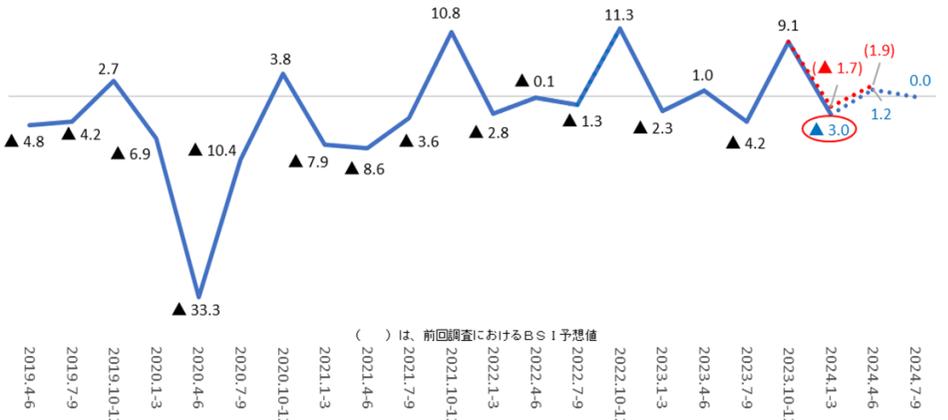
### 4 所定外労働時間

2024年1~3月期(実績) ▲3.0	2024年4~6月期(見込) 1.2	2024年7~9月期(見込) 0.0
------------------------	-----------------------	-----------------------

#### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は▲3.0と、建設業(18.0)などで上昇した一方、運輸・倉庫業(▲26.5)、サービス業(▲5.8)、製造業(▲4.6)などで減少し、全体としては幾分減少した。
- ・先行きは、業種によって差はあるものの、全体としては4~6月期にわずかに上昇し、続く7~9月期には横ばいで推移する見通し。

【所定外労働時間BSI推移】



所定外労働時間	実績						予測					
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期		
	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少	B.S.I	増加	減少
総計	9.1	26.6	8.4	▲3.0	14.9	20.8	1.2	16.8	14.4	0.0	9.6	9.6
業種別												
製造業	6.5	23.7	10.7	▲4.6	12.5	21.6	0.3	12.1	11.5	1.8	11.5	8.0
卸売業	2.4	14.3	9.5	0.0	12.2	12.2	▲3.7	7.3	14.6	2.5	7.3	2.4
小売業	20.9	41.7	0.0	6.7	26.7	13.3	3.3	13.3	6.7	▲3.3	6.7	13.3
建設業	10.0	28.0	8.0	18.0	48.0	12.0	▲18.0	12.0	48.0	▲6.0	0.0	12.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	25.0	55.0	5.0	▲26.5	0.0	52.9	17.7	47.1	11.8	5.9	17.6	5.9
サービス業	16.3	37.2	4.7	▲5.8	13.5	25.0	11.5	36.5	13.5	▲5.9	9.8	21.6
規模別												
大企業	5.9	23.4	11.7	2.0	20.4	16.5	6.0	25.0	13.0	▲0.5	9.0	10.0
中小企業	10.4	27.9	7.1	▲5.2	12.4	22.7	▲0.9	13.2	15.0	0.3	9.9	9.4

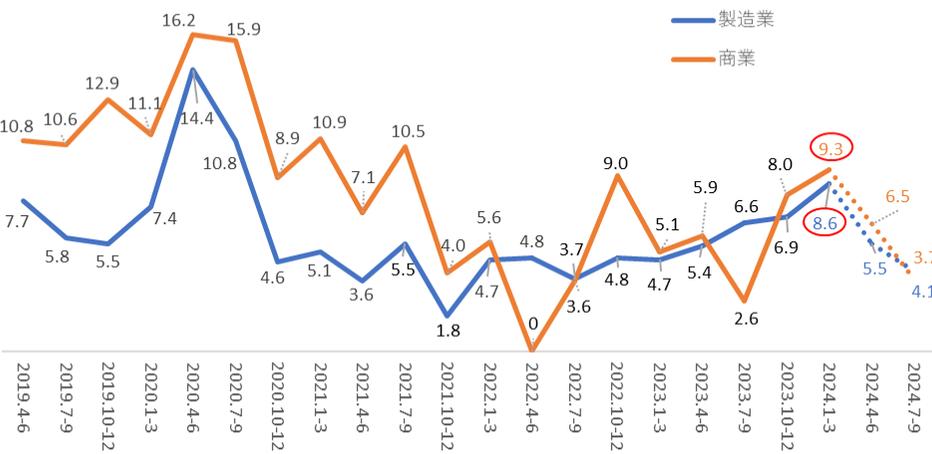
### 5 製・商品在庫

2024年1~3月期(実績)	2024年4~6月期(見込)	2024年7~9月期(見込)
8.8	5.8	4.0

#### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は8.8と過剰傾向で推移した。製造業(8.6)、商業(9.3)とも過剰感が強まり、特に小売業(11.6)で過剰感が大幅に強まった。
- ・先行きは、7~9月期にかけて製造業、商業とも過剰度合いは緩和に向かう見込み。

【製・商品在庫BSI推移】



製・商品在庫	実績						予測						
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期			
	B.S.I	過剰	不足	B.S.I	過剰	不足	B.S.I	過剰	不足	B.S.I	過剰	不足	
総計	7.1	18.8	4.6	8.8	20.2	2.6	5.8	14.1	2.6	4.0	11.5	3.5	
業種別	製造業	6.9	18.5	4.8	8.6	19.5	2.3	5.5	13.9	2.9	4.1	12.1	4.0
	卸売業	9.0	23.1	5.1	8.6	22.0	4.9	6.1	14.6	2.4	3.7	9.8	2.4
	小売業	4.6	9.1	0.0	11.6	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0	3.9	7.7	0.0
規模	大企業	10.9	21.8	0.0	8.2	18.0	1.6	5.9	15.0	3.3	4.2	13.3	5.0
	中小企業	5.9	17.8	6.1	9.0	21.0	3.0	5.7	13.8	2.4	3.9	10.8	3.0

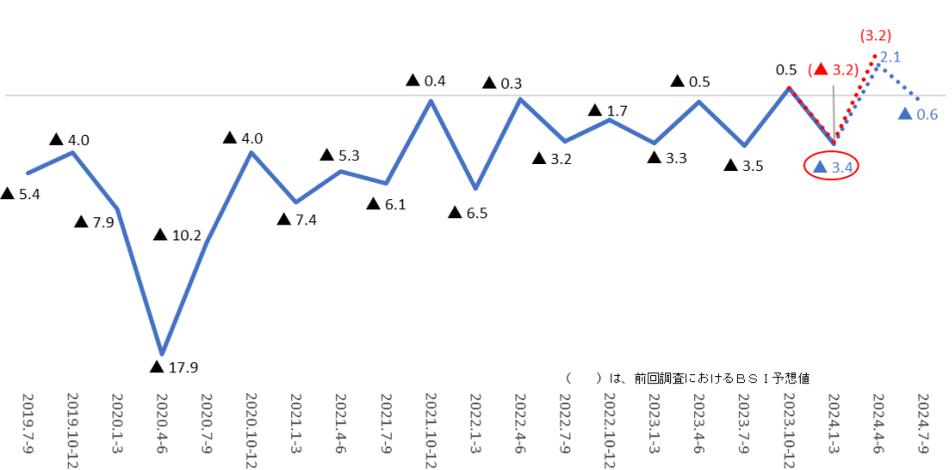
### 6 資金繰り

2024年1~3月期(実績)	2024年4~6月期(見込)	2024年7~9月期(見込)
▲3.4	2.1	▲0.6

#### 《2024年1~3月期BSI値》

- ・今期のBSI値は▲3.4と悪化に転じた。ほぼ横ばいの業種が多かったものの、卸売業(▲13.1)で大幅に悪化し、全体としては幾分の悪化となった。
- ・大企業(1.0)では改善が続く一方、中小企業(▲5.3)では悪化の傾向が継続した。
- ・先行きは、7~9月期にかけて一進一退で推移する見通し。

【資金繰りBSI推移】



資金繰り	実績						予測						
	2023年10~12月期			2024年1~3月期			2024年4~6月期			2024年7~9月期			
	B.S.I	改善	悪化	B.S.I	改善	悪化	B.S.I	改善	悪化	B.S.I	改善	悪化	
総計	0.5	10.3	9.4	▲3.4	7.7	14.5	2.1	11.2	7.1	▲0.6	6.3	7.4	
業種別	製造業	▲0.9	8.3	10.1	▲4.0	4.0	11.9	0.6	8.0	6.8	▲0.3	4.5	5.1
	卸売業	▲8.3	2.4	19.0	▲13.1	4.8	31.0	0.0	9.5	9.5	1.2	9.5	7.1
	小売業	12.5	33.3	8.3	6.7	26.7	13.3	3.4	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7
	建設業	▲2.0	4.0	8.0	1.9	11.5	7.7	▲3.9	0.0	7.7	▲2.0	3.8	7.7
	不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・倉庫業	5.0	10.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	11.8	11.8	▲5.9	0.0	11.8
規模	大企業	10.7	26.2	4.8	▲1.0	15.4	17.3	11.6	30.8	7.7	▲1.0	13.7	15.7
	中小企業	3.9	12.0	4.3	1.0	12.6	10.7	5.9	15.8	4.0	2.0	9.9	5.9

## IV 当面の経営上の問題点

### 調査結果のまとめ

「原材(燃)料高」の回答率が10期連続で1位となるも  
回答率は減少し、50%を下回る

#### ■ 当面の経営上の問題点

・「原材(燃)料高(48.7%)」は10期連続の第1位となったが、前期に比べて回答率は減少し、11期ぶりに50%を下回った。第2位の「求人難(41.7%)」も回答が減少した一方で、第3位の「受注・売上不振(35.9%)」、第4位の「人件費負担増大(29.4%)」、第5位の「技能労働者不足(17.5%)」では、回答率が前期に比べて増加した。

第1位は「原材(燃)料高」(48.7%) (前期実績53.9%)

第2位は「求人難」(41.7%) (前期実績45.2%)

第3位は「受注・売上不振」(35.9%) (前期実績35.3%)

第4位は「人件費負担増大」(29.4%) (前期実績27.2%)

第5位は「技能労働者不足」(17.5%) (前期実績14.9%)

#### ≪業種別≫

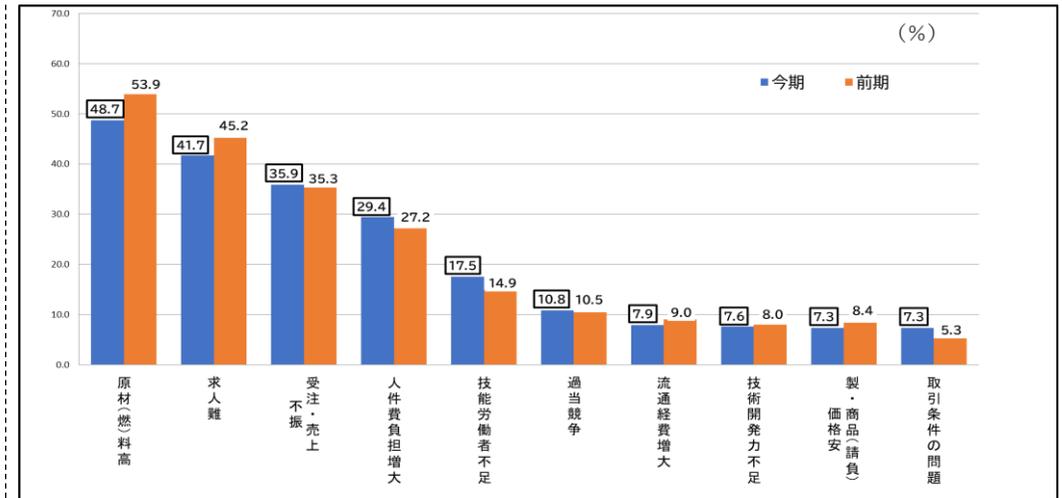
・「原材(燃)料高」は依然として運輸・倉庫業(58.8%)、製造業(56.7%)で回答が多かったが、いずれも前期を下回った。

・「求人難」はサービス業(63.0%)、小売業(53.3%)、運輸・倉庫業(52.9%)の順に回答が多かった。

・「受注・売上不振」は卸売業(47.6%)で最も回答が多く、製造業(41.0%)、運輸・倉庫業(35.3%)と続いた。

#### ≪規模別≫

・中小企業の1位から3位の順位は前期と同様だったが、大企業では「人件費負担増大」が「受注・売上不振」を上回り、第3位となった。



当面の経営上の問題点		第1位 (%)		第2位 (%)		第3位 (%)	
総計	原材(燃)料高	48.7	求人難	41.7	受注・売上不振	35.9	
規模別	大企業	原材(燃)料高	47.6	求人難	41.9	人件費負担増大	29.5
	中小企業	原材(燃)料高	49.2	求人難	41.6	受注・売上不振	39.9
業種別	製造業	原材(燃)料高	56.7	受注・売上不振	41.0	求人難	36.0
	卸売業	受注・売上不振	47.6	求人難	35.7	人件費負担増大	31.0
	小売業	人件費負担増大、求人難	53.3	原材(燃)料高	33.3		
	建設業	技能労働者不足	59.3	原材(燃)料高	55.6	求人難	40.7
	不動産業	人件費負担増大	30.0	求人難、技能労働者不足、地価問題	20.0		
	運輸・倉庫業	原材(燃)料高	58.8	求人難	52.9	受注・売上不振、人件費負担増大	35.3
サービス業	求人難	63.0	原材(燃)料高、人件費負担増大	42.6			

## V 企業の現況

### 原材料価格の上昇幅は5期連続で縮小 民間工事の需要回復の動きを受け、建設業の受注高は増加が続く

#### ■ 操業率（製造業）≪2024年1～3月期≫

「上昇」 13.3%（前期実績26.1%）

「下降」 26.1%（前期実績11.2%）

B S I 値 ▲6.4（前期実績 7.5）

- ・染色、繊維製品、鉄鋼などを中心にほとんどの取扱品目で下降し、B S I 値は▲6.4とマイナスに転じた。

#### ■ 受注残（製造業）≪2024年1～3月期≫

「増加」 9.2%（前期実績18.6%）

「減少」 27.6%（前期実績19.9%）

B S I 値 ▲9.2（前期実績▲0.6）

- ・化学・ゴム、一般機械、食料品を除く全ての取扱品目で減少し、B S I 値は ▲9.2と、5期連続でマイナスとなった。

#### ■ 受注高（建設業）≪2024年1～3月期≫

「増加」 33.3%（前期実績29.2%）

「減少」 16.7%（前期実績25.0%）

B S I 値 8.3（前期実績 2.1）

- ・公共工事は依然として減少傾向にあるものの、民間工事の増加幅が拡大し、B S I 値は8.3とプラスとなった。

#### ■ 原材料価格（製造業、建設業）≪2024年1～3月期≫

「上昇」 58.6%（前期実績66.9%）

「下降」 2.2%（前期実績 2.2%）

B S I 値 28.2（前期実績32.4）

- ・B S I 値は28.2と依然高水準となったものの、上昇幅は5期連続で縮小し、10期ぶりにB S I 値が30.0を下回った。

	2021年	2022年				2023年				2024年
	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期
操業率（製造業）	12.4	▲0.9	1.7	2.8	9.0	▲0.6	0.3	▲1.9	7.5	▲6.4
受注残（製造業）	8.0	▲0.6	▲1.4	2.6	4.6	▲3.2	▲2.8	▲2.1	▲0.6	▲9.2
受注高（建設業）	▲5.2	▲10.0	▲9.5	▲1.8	▲4.2	▲2.0	▲12.5	0.0	2.1	8.3
内 公共工事	▲3.6	▲16.0	▲8.4	▲6.9	▲8.7	▲4.0	▲20.9	▲15.4	▲6.3	▲14.0
民間工事	▲5.0	▲10.0	▲8.4	▲5.2	▲8.7	▲8.0	▲8.0	5.8	4.0	10.0
原材料価格（製造業、建設業）	39.0	40.4	46.3	43.0	43.8	41.5	35.9	34.7	32.4	28.2

## VI 調査企業からのコメント

- ・和装業界の先行きが不透明なため、情報収集に尽力している。  
(繊維製造)
- ・消費者の購買意欲が落ち込んでいる。(繊維製造)
- ・中小企業は少人数で多くの作業を行う必要があるため、補助金等の申請にまで手が回らない。(染色)
- ・短期的には人件費割合の増加が、中期的には原材(燃)料価格に連動した値決めが課題。(染色)
- ・中小企業の業況が依然厳しい中、大幅な賃上げを実現する必要がある、判断が難しい。(繊維製品製造)
- ・インボイス制度は導入しなければデメリットが大きいが、導入する手間の割にはメリットが少ない。(非鉄)
- ・原価上昇分を価格転嫁することにより利益を確保しているが、値上げにより販数量の伸びが鈍化し、生産数量の確保が難しい。  
(精密機械製造)
- ・受注・売上はコロナ禍前の水準に戻したものの、営業人材を中心とした求人難に直面している。(出版・印刷)
- ・2024年問題による物流の変化に対応していく必要がある。(繊維卸)
- ・売上を確保するには人手が足りず、人手を増やすには人件費負担が大きく、目先の利益を生み出せない状況。(繊維卸)
- ・国際紛争、アメリカ大統領選挙、国内政治など不安要素が多い。  
(小売業)
- ・流通経費増大や為替問題で仕入高になり、厳しい状況。(小売業)
- ・原材(燃)料及び人件費負担は増加しているが、売上は横ばいである。(建設業)
- ・時間外労働時間の規制を行うには問題が山積みであるため、実施時期を考慮してほしい。(建設業)
- ・防災意識の高まりや大阪・関西万博関係により景況は改善するが、求人難が重しとなっている。(建設業)
- ・時間外労働時間の規制による人件費負担の増加と、人手不足を理由とした工期延長による経費負担の増加から、建設費の高騰が予想されるが、すぐには改善されない見込み。(建設業)
- ・コロナ禍の反動が続いており、外食産業の売上増加に繋がっている。  
(料理・飲食)
- ・インバウンド需要の拡大と円安により、客単価の増加が期待できるが、ホテルの数が急増しており、差別化を意識した設備投資を計画する必要がある。(旅館・ホテル)

## Ⅶ 設備投資計画について

付帯調査①

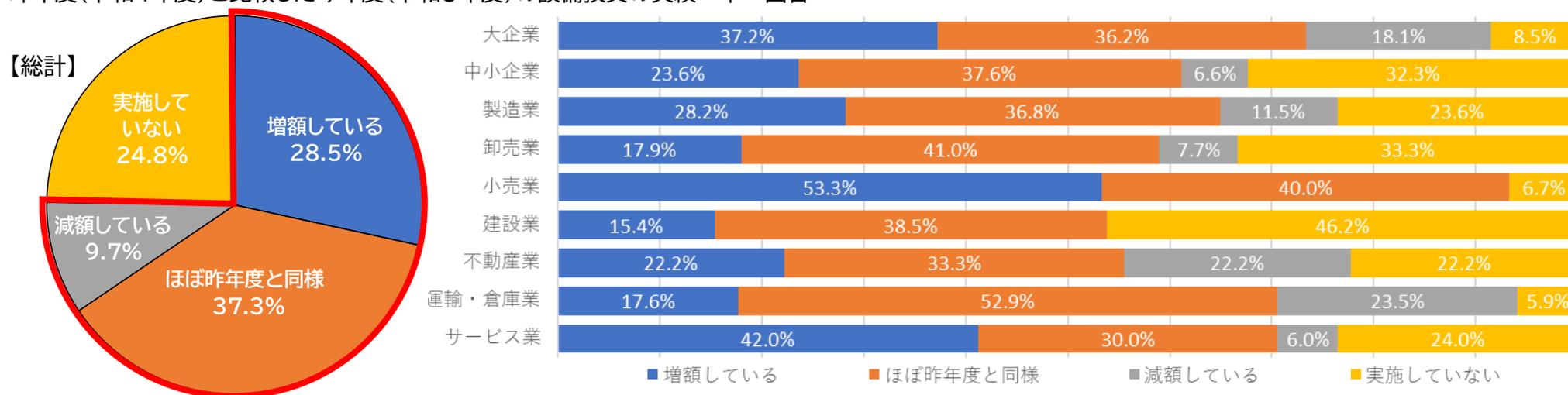
### 今年度設備投資を実施した企業は75.5%と微増 来年度の設備投資については規模間で差がみられる

#### 1 昨年度（令和4年度）と比較した今年度（令和5年度）の 設備投資の実績

- ・昨年度と比較した今年度の設備投資の実績については、実施した企業は75.5%と、昨年度（72.9%）からやや増加したものの、全体的な傾向に大きな違いは無かった。
- ・内訳は「増額している」が28.5%、「ほぼ昨年度と同様」が37.3%、「減額している」が9.7%、「実施していない」が24.8%となり、「増額している」と回答した企業は昨年度（27.1%）からやや増加した。

- ・規模別にみると、大企業では91.5%が実施した一方、中小企業で実施した企業は67.8%に留まった。「ほぼ昨年度と同様」の回答は規模間で差は見られなかったが、「増額している」と「減額している」の回答はいずれも大企業が中小企業を上回った。
- ・業種別では、「増額している」の回答は小売業（53.3%）で最も多く、サービス業（42.0%）、製造業（28.2%）と続いた。一方、「減額している」の回答は運輸・倉庫業（23.5%）で最も多い結果となった。また、「実施していない」の回答は建設業（46.2%）で最も多く、運輸・倉庫業（5.9%）で最も少なかった。

昨年度(令和4年度)と比較した今年度(令和5年度)の設備投資の実績<単一回答>

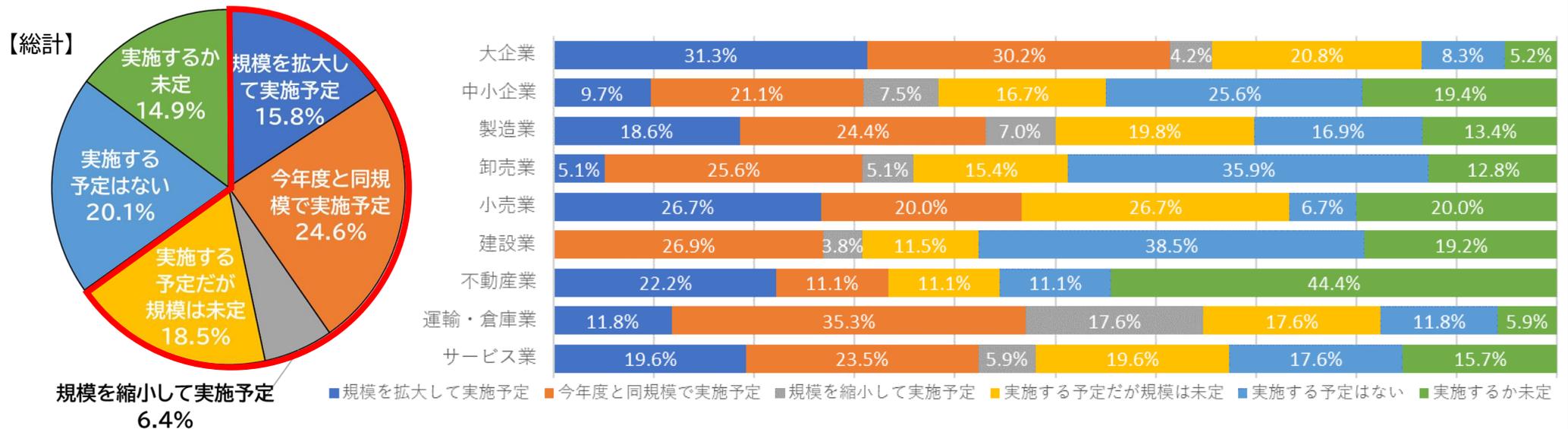


## 2 今年度(令和5年度)と比較した来年度(令和6年度)の設備投資の計画

- 今年度と比較した来年度の設備投資の計画については、全体の65.3%が実施予定と回答し、昨年度(65.0%)とほぼ同様となった。
- 内訳は「拡大して実施」が15.8%、「今年度と同規模で実施」が24.6%、「縮小して実施」が6.4%、「規模は未定」が18.5%となり、同規模での実施が最も多い結果となった。
- 「実施する予定はない」は20.1%となり、昨年度(18.5%)をやや上回った。

- 規模別にみると、大企業では86.5%と9割近くが実施予定であるのに対し、中小企業では55.0%とおおよそ半数に留まった。また、「実施するか未定」についても、大企業の5.2%に対し、中小企業では19.4%とおおよそ2割程度の回答があり、設備投資に慎重な姿勢が見られた。
- 業種別にみると、小売業では「縮小して実施」の回答はなく、「拡大して実施」の回答が26.7%と、全業種中最も多く回答があった。建設業では「拡大して実施」の回答はなく、「実施する予定はない」の回答が38.5%と最も多かった。実施予定の割合が最も多かったのは運輸・倉庫業(82.3%)で、小売業(73.4%)、製造業(69.8%)、と続いた。

今年度(令和5年度)と比較した来年度(令和6年度)の設備投資の計画<単一回答>



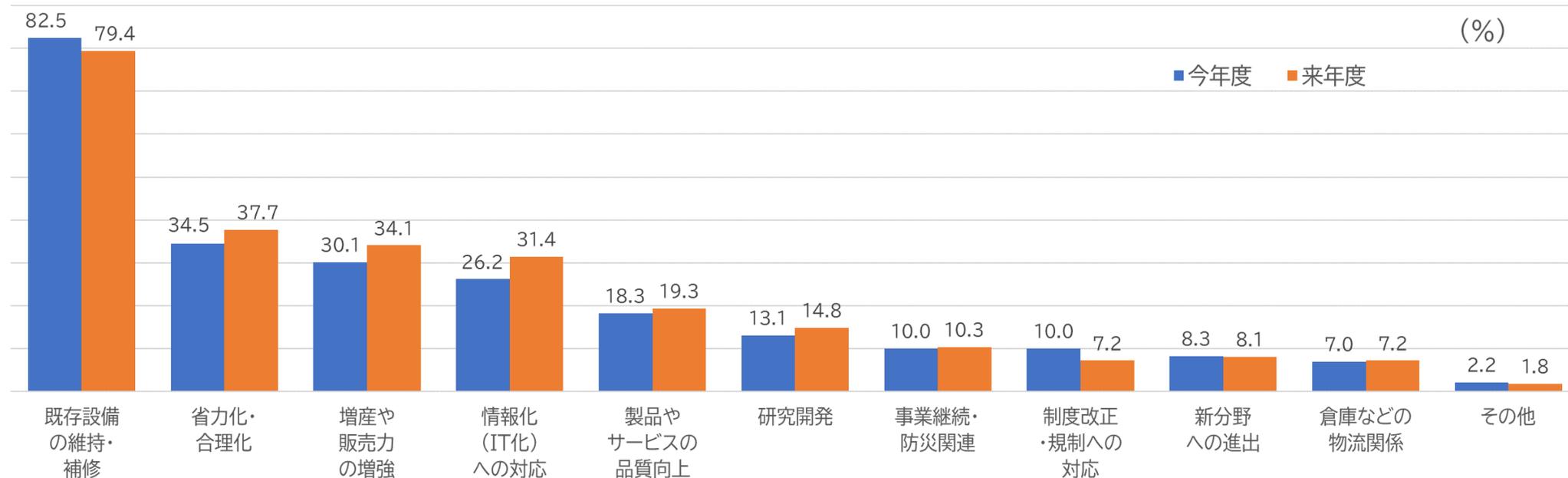
### 3 今年度（令和5年度）実施した設備投資の目的

- ・設備投資の目的について、今年度は「既存設備の維持・補修（82.5%）」が最も多かった。次いで「省力化・合理化（34.5%）」、「増産や販売力の強化（30.1%）」、「情報化（IT化）への対応（26.2%）」、「が回答の上位を占めた。
- ・昨年度との比較では、「倉庫などの物流関係（7.0%）」が昨年度（4.8%）を超える結果となり、2024年問題に向けて対応を進める企業が増加していることが推察される。一方で「増産や販売力の強化（30.1%）」、「研究開発（13.1%）」、「新分野への進出（8.3%）」などの積極的投資については昨年度から減少している。

### 4 来年度（令和6年度）実施予定の設備投資の目的

- ・今年度と同じく、「既存設備の維持・補修（79.4%）」、「省力化・合理化（37.7%）」、「増産や販売力の増強（34.1%）」、「情報化（IT化）への対応（31.4%）」の順に回答が多かった。
- ・今年度実施した内容と比較して、全体的な回答の割合に大きな差は見られなかったが、「既存設備の維持・補修」の回答はやや減少し、「省力化・合理化」や「増産や販売力の増強」、「情報化（IT化）への対応」、などの回答が若干増加した。

今年度(令和5年度)実施した設備投資の目的・来年度(令和6年度)実施予定の設備投資の目的<それぞれ該当項目4つ以内>

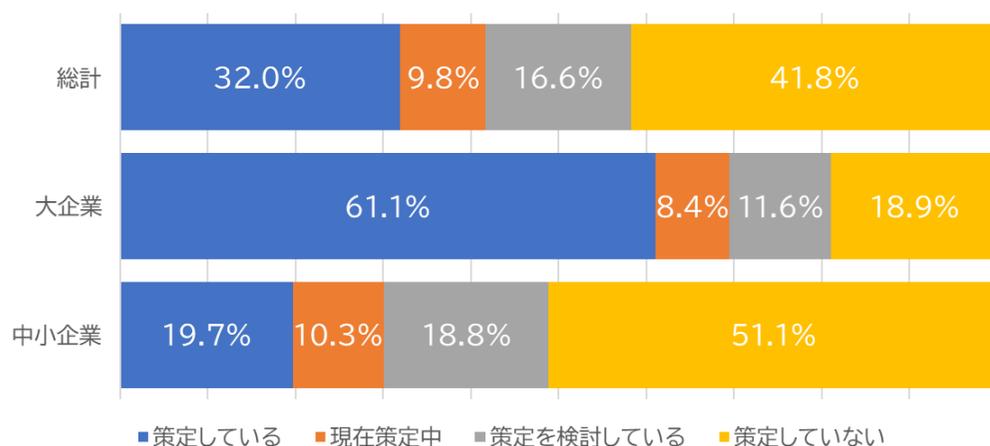


## BCPを策定している企業は5年前と比べ微増 策定ノウハウの不足や人員の確保が課題

### 1 BCPの策定状況について

- ・近年多発する自然災害や、感染症など企業が不足の事態に遭遇した場合においても、取引先等に対する製品・サービスの供給責任を果たすための対応を文書化したBCP（事業継続計画）について、「策定している」企業は32.0%で、5年前の調査結果（28.5%）に比べて若干増加した。
- ・規模別にみると、大企業では61.1%と半数以上の企業で策定しており、策定中・検討中を含めると8割を超える一方で、中小企業では策定している企業は19.7%、策定中・検討中を含めても半数未満に留まり、規模間で策定状況に大きな差が見られる結果となった。

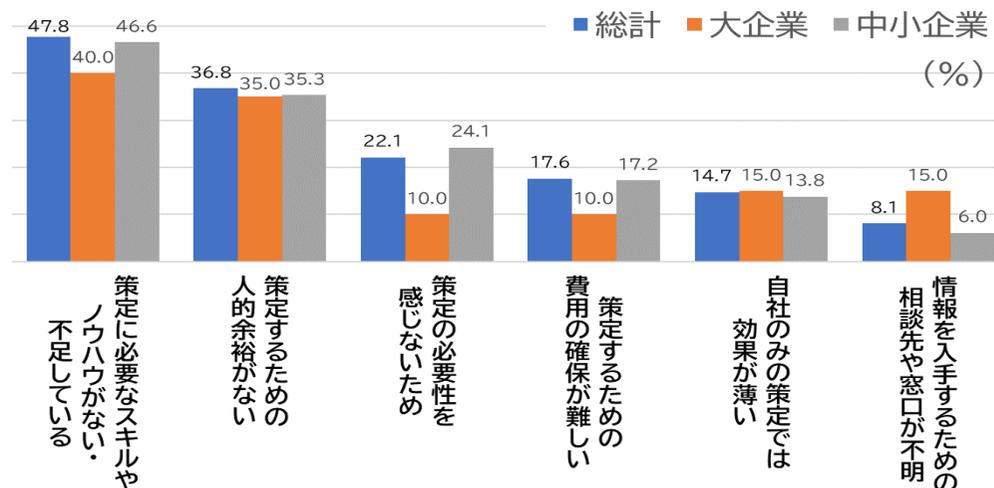
BCPの策定状況について<単一回答>



### 2 BCPを策定していない理由

- ・BCPを策定していないと回答した企業が、その理由として最も多く回答したのは「策定に必要なスキルやノウハウがない・不足している（47.8%）」で、半数近くの企業が理由として挙げた。また、「策定するための人的余裕がない（36.8%）」にもおよそ3分の1の回答が集まり、人材や人手不足の状況が様々な分野に及んでいることが見てとれる。
- ・規模間で比較すると、大企業では「情報入手するための相談先や窓口が不明」の回答が多く、中小企業では「策定に必要なスキルやノウハウがない・不足している」や「策定の必要性を感じないため」、「策定するための費用の確保が難しい」の回答が多かった。

BCPを策定していない理由<該当項目2つ以内>



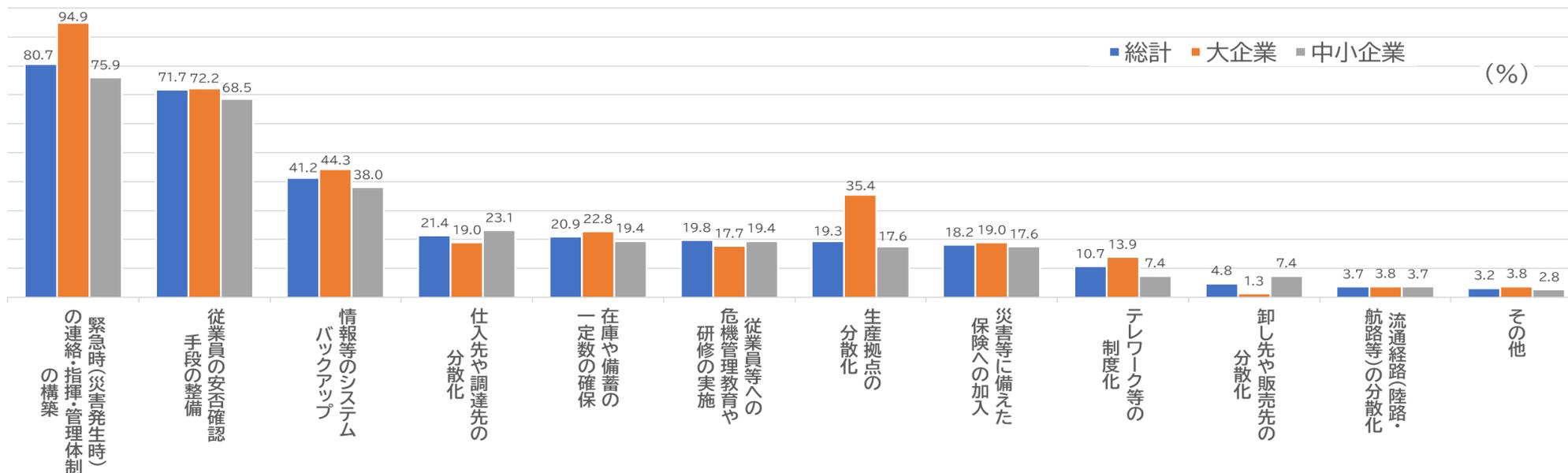
## Ⅷ 事業継続計画（BCP）について

### 3 策定した（策定中の）BCPの内容

- ・BCPを策定している・策定中・検討中と回答した企業のBCPの内容については、「緊急時（災害発生時）の連絡・指揮・管理体制の構築（80.7%）」と、「従業員の安否確認手段の整備（71.7%）」が半数を超え、大きな割合を占めた。
- ・また、「情報等のシステムバックアップ（41.2%）」にも回答が集まり、IT化が進む現代において、多くの企業が情報の保全を重要視している状況が見受けられる。

- ・回答の上位を占めるのは、業種を問わず取組みを進めやすい内容が多く、反対に「生産拠点の分散化（19.3%）」や「卸し先や販売先の分散化（4.8%）」、「流通経路の分散化（3.7%）」といった業種が限定的な内容については、割合がやや少なくなっている。
- ・規模間で比較すると、大企業ではほとんどの企業で「緊急時の連絡・指揮・管理体制の構築」を回答した一方、中小企業では75.9%と差がみられた。また、大企業では「生産拠点の分散化」の回答が中小企業に比べて多く、中小企業では「仕入先や調達先の分散化」の回答が大企業に比べて多かった。

策定した（策定中の）BCPの内容＜該当項目4つ以内＞



# 卷末資料

## 調査対象業種の主要製・商品（営業内容）

食料品	……………	清酒、パン、洋菓子、和菓子、調味料等	出版・印刷	……………	印刷・製本、出版、紙製品等
繊維	……………	正絹着尺、帯地等	その他製造業	……………	毛皮、洋傘、マネキン、ゲーム機器、扇子、香薰等
染色	……………	機械染色整理、スクリーン染色、型染友禅、手描友禅等	食料品卸	……………	清酒、洋酒、洋菓子、和菓子、調味料、砂糖、缶詰等
繊維製品	……………	ネクタイ、肌着、レース、リボン、クロス等	繊維卸	……………	白生地、染呉服、帯地、和装小物等
化学・ゴム	……………	界面活性剤、染料、顔料、医薬品、ゴム等	機械金属卸	……………	自動車、家電製品、鋼材、工具、電気機器、工作機械等
窯業・土石	……………	電磁気、磁石、ガラス、生コンクリート、セメント等	小売業	……………	百貨店、スーパー、専門店等
鉄鋼	……………	銑鉄鋳物等	建設業	……………	総合工事業等
非鉄	……………	伸銅品、黄銅棒、アルミ合金、鍍金、金属加工等	不動産業	……………	不動産賃貸、建売、土地売買、代理業、仲介業等
一般機械	……………	車体、内燃機関、繊維・染色機械、工作機械等	運輸・倉庫業	……………	鉄道、道路旅客運送、貨物運送、倉庫業等
電気機械	……………	配電板、配線板、スイッチ、コンデンサ、電池、電子部品等	料理・飲食	……………	料理・飲食（観光地）等
精密機械	……………	計量機、分析機、試験機、レントゲン、医療機器等	旅館・ホテル	……………	旅館・ホテル等
木材・木製品	……………	製材、建材、家具等	情報・事業	……………	情報サービス、調査、広告、事業サービス等
			その他サービス業	……………	洗たく・理容、娯楽、自動車整備、駐車場、個人サービス等